

北海道浮魚ニュース

平成12(2000)年度21号 (通巻 No.91)

2000年10月13日

北海道立中央水産試験場	Tel :0135-23-8707	Fax :0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel :0154-23-6221	Fax :0154-23-6225
函館水産試験場	Tel :0138-57-5998	Fax :0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel :0162-32-7177	Fax :0162-32-7171
網走水産試験場	Tel :0152-43-4591	Fax :0152-43-4593

平成12年度北西太平洋サンマ長期漁況海況予報 漁期後半の見通し

10月12日に東北区水産研究所並びに各機関が共同で「平成12年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報 漁期後半の見通し」を発表しましたので、お知らせします。

【漁 況】

資源の来遊状況

棒受網漁業による漁獲量、調査船調査による漁獲分布および来遊資源量指数が前年を大きく上回っていることから、本漁期後半における来遊資源量は、当初の漁況予想と異なり、前年を大幅に上回るものと予想される。

漁場位置

表面水温は概ね平年並みに推移すると予想されているので、全般的にはサンマの南下も平年並みの経過となると推測される。10月中旬には主漁場は三陸沖に移り、三陸沖暖水塊と親潮第一分枝の潮境には安定した漁場が形成されよう。常磐海域に冷水域があるので、11月上旬以後は、常磐沿岸にも漁場が形成されよう。

漁獲物の組成

漁期前半は特大魚(32cm以上)の割合が多かったが、漁期後半は特大魚の成熟が進み、灯付きが悪くなると予想されることから、特大魚の割合は減少し、中型および小型魚が漁獲の主体となろう。

【海 況(2000年10~12月)】

近海の黒潮の北限は36°N~37°Nで推移する。

黒潮系暖水の北への張り出しは、沖合を中心に平年より北寄りに推移する。

近海(146°E以西)では、11月までに40°30'Nを越えて張り出す。

沖合では150°E~153°Eで41°Nを越えて張り出す。

三陸沖暖水塊は北へ移動する。択捉島沖に発達した暖水塊は北東へ移動する。

親潮第1分枝は沖寄り、南端緯度は平年並み(40°N以北)である。

親潮第2分枝の張り出しは40°N付近までである。

津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°E付近)である。

なお、水産庁東北区水産研究所のホームページには、漁期前半の漁況・海況の経過などを解説した予報文が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

水産庁東北区水産研究所HPアドレス：<http://ss.myg.affrc.go.jp/index-j.html>

(文責 釧路水産試験場資源管理部 直通電話0154-23-6222)